

マーケットの動き（2024年12月9日～12月13日）

先週の米国国債市場は、前週末比で金利は上昇しました（債券価格は下落）。11日発表の11月の米国CPI（消費者物価指数）は市場予想と一致しましたが、減速ペースが引き続き緩やかであることに加え、12日発表の11月の米国PPI（卸売物価指数）が市場予想を上回ったことなどを受け、米国経済は引き続き堅調であり、根強いインフレ圧力から2025年の米国金融政策の先行き不透明感が高まったことで債券は売られました。

欧州国債市場は、前週末比で金利は上昇しました（債券価格は下落）。

投資環境見通し（2024年12月）

長期金利は、米国、欧州（ドイツ）では低下傾向

米国：大統領および連邦議会選挙を終え、今後は次期政権の人事と政策運営の方向性が注目されるとみられます。当面は関税や移民などの景気抑制に影響する政策動向が意識される中、長期金利はレンジ内でやや低下するとみています。

欧州：経済関係の強い中国の景気減速やドイツをはじめとした経済成長が下振れするとの見方に加え、ECB（欧州中央銀行）による追加利下げ観測を背景に、ドイツ長期金利は低下するとみています。

	12月13日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（米国、%） （変動幅）	4.40	0.25	▲0.05	0.16	0.38
FTSE世界国債インデックス 除く日本、円ベース（騰落率）	605.57	1.27%	▲0.38%	▲0.49%	8.11%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202412_outlook.pdf

主要国国債利回りの推移

（期間：2023年11月30日～2024年12月13日）



FTSE世界国債インデックスの推移

（期間：2023年11月30日～2024年12月13日）



※2023年11月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>